



アマミノクロウサギを捕えたネコ（環境省奄美野生生物保護センター 提供）



麻布大学祭企画

# イエネコ問題を考える

—生態系への影響、人獣共通感染症の問題から適正飼養へ—

日時

2018年10月28日 13:30-16:00

会場

麻布大学 生命・環境科学部棟 202 教室

「自然生態系への影響、島の希少種保全とネコ」

山田文雄（森林総合研究所）

「放し飼い猫における感染症リスク」

宇根有美（岡山理科大学）

「わが国のネコの法体制の実態と問題点」

諸坂佐利（神奈川大学）

「パネルディスカッション「新たなつきあい方を探る」」

山田文雄・宇根有美・諸坂佐利

植竹勝治（麻布大学）・南 正人（麻布大学）

希少種の捕食による生態系への影響や人獣共通感染症の伝播など、屋外のイエネコには様々な問題が存在します。麻布大学のテーマである「動物と人と環境の共生をめざす」上で、イエネコ問題を考えることは重要です。本シンポジウムではこれらの事例やその対策を紹介し、適正なイエネコ管理に向けての法制度の実態や問題点を報告します。さらに、パネルディスカッションを通じて、イエネコと人間との新たなつきあい方について考えます。

主催：麻布大学野生動物学研究室